

① 発表論文 (H.27.4～H.28.3)

(様式3)

(1) 欧文

著者 (全員)、タイトル、雑誌名、巻、ページ (始—終)、掲載年

1. Kume K, Yasuoka Y, Sasaki T.:

Successful percutaneous retrieval of a guiding catheter tip that had unexpectedly become detached using a two-wire technique.

Int J Angiol. *in press*

(2) 邦文

著者 (全員)、タイトル、雑誌名、巻、ページ (始—終)、掲載年

1. 久米清士、山戸将司、小濱康明、松寺 亮、足達英悟、安岡良典、佐々木達哉

開心術中に併発した外科用接着剤バイオグルーによる冠動脈塞栓症の一例

Osaka Heart Club, vol.39 No.7 Dec2015: P6-9

② 学会発表 (H.27.4～H.28.3) (様式 4)

(1) 海外 (国内開催の国際学会を含む)

学会名、開催時期(年、月)、場所(都市名)、演者名(全員)、演題名

(2) 国内

学会名、開催時期(年、月)、場所(都市名)、演者名(全員)、演題名

第 79 回日本循環器学会総会 2015 年 4 月 24～26 日 大阪

1. Kume K, Yamato M, Hasegawa S, Kohama Y, Matsutera R, Adachi H, Hattori S, Yasuoka Y, Sasaki T.

Prognostic Impact of Mitral Regurgitation at Discharge in Patients with ST-segment Elevation Myocardial Infarction Undergoing Primary Percutaneous Coronary Intervention.

第 24 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2015 年 7 月 30 日～8 月 1 日 福岡

2. Yasuoka Y, Yamato M, Kohama Y, Matsutera R, Adachi H, Kume K, Sasaki T.

Clinical Features of Late Target Lesion Revascularization After SES Implantation in Real World Practice.

3. Kume K, Yamato M, Kohama Y, Matsutera R, Adachi H, Yasuoka Y, Sasaki T.

Impact of Mitral Regurgitation on Heart Failure Readmission in Patients with ST-segment Elevation Myocardial Infarction.

4. Matsutera R, Yasuoka Y, Kume K, Adachi H, Kohama Y, Yamato M, Sasaki T.

Clinical Usefulness of a Novel Technique to Deliver a Balloon to the Side Branch After Main Vessel Stenting.

第 63 回日本心臓病学会学術集会 2015 年 9 月 18～20 日 横浜

5. 安岡良典、山戸将司、小濱康明、松寺 亮、足達英悟、久米清土、佐々木達哉

長期間および高頻度の右室心尖部ペーシングの影響

-心室中隔ペーシングおよび MVP モードとの比較検討-

6. 久米清土、山戸将司、小濱康明、松寺 亮、足達英悟、丸本明彬、星田義彦、岩田圭司、安岡良典、佐々木達哉

肺非小細胞癌に合併した巨大左房粘液腫を切除した一例

7. 山戸将司、安岡良典、久米清土、足達英悟、小濱康明、松寺 亮、佐々木達哉

ペースメーカー植え込み症例における無症候性心房細動に関する検討

第 26 回日本心血管画像動態学会 2016 年 1 月 29～30 日 東京

8. 松寺 亮、山戸将司、小濱康明、足達英悟、久米清士、安岡良典、佐々木達哉
丸本明彬、岩田圭司、星田義彦

炎症性腹部大動脈瘤既往の患者に AngioSeal® を使用し感染性動脈瘤を生じた一症例

日本不整脈学会第 8 回植込みデバイス関連冬季大会 2016 年 2 月 5～7 日 北九州

9. 安岡良典、山戸将司、小濱康明、松寺 亮、足達英悟、久米清士、佐々木達哉
中西 健、中村貴行

長期間および高頻度の右室心尖部ペーシングの影響

-心室中隔ペーシングおよび MVP モードとの比較検討-

10. 山戸将司、安岡良典、久米清士、足達英悟、小濱康明、松寺 亮、佐々木達哉
中西 健、中村貴行

無症候性心房細動における脳梗塞発症率 —ペースメーカー植込み症例における検討—

第 80 回日本循環器学会総会 2016 年 3 月 18～20 日 仙台

11. Yasuoka Y, Yamato M, Kohama Y, Matsutera R, Adachi H, Kume K, Sasaki T.

Clinical Outcome After Very Late Target Lesion Revascularization for Sirolimus-Eluting Stent in Real-World Patients.

12. Kume K, Yamato M, Kohama Y, Matsutera R, Adachi H, Yasuoka Y, Sasaki T.

Impact of Body Mass Index on Postdischarge Outcomes in Patients with ST-segment Elevation Myocardial Infarction Undergoing Primary Percutaneous Coronary Intervention.

第 119 回日本循環器学会近畿地方会 2015 年 6 月 20 日 大阪

13. 久米清士、山戸将司、小濱康明、松寺 亮、足達英悟、丸本明彬、星田義彦、岩田圭司
安岡良典、佐々木達哉

肺非小細胞癌に合併した巨大左房粘液腫の切除例
担癌症例の人工心肺下開心術の適応に関して

第 120 回日本循環器学会近畿地方会 2015 年 11 月 28 日 大阪

14. 松寺 亮、山戸将司、小濱康明、足達英悟、久米清士、安岡良典、佐々木達哉
丸本明彬、岩田圭司、星田義彦

炎症性腹部大動脈瘤既往の患者に AngioSeal® を使用し感染性動脈瘤を生じた一症例

③ 研究会等での発表 (H.27.4～H.28.3) (様式5)

研究会名、開催時期(月、年)、場所(都市名)、演者名(全員)、演題名

第10回 MOCHOT K-SAMITO 2015年6月27日 大阪

1. 久米清士

肺非小細胞癌に合併した巨大左房粘液腫の切除例

第11回 MOCHOT K-SAMITO 2015年11月7日 大阪

2. 松寺 亮

炎症性腹部大動脈瘤既往の患者に AngioSeal®を使用し感染性動脈瘤を生じた一症例

④ 総説・著書数 (H.27.4～H.28.3)

(様式6)

(1) 欧文

著者、タイトル、編集者名、書籍名、出版社名、ページ、出版年

1.

↓

(2) 邦文

著者、タイトル、編集者名、書籍名、出版社名、ページ、出版年

1.